

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007

ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

FAX03-3261-5453

2016年8月31日（水）

第659号 本号3頁

「共謀罪」新設許すな！

日本の表現の自由の危機を告発したケイ氏の「報告」

「秘密保護法」廃止へ！実行委員会が学習会

「秘密保護法」廃止へ！実行委員会は8月30日、文京区内で学習会「表現の自由と国際人権—許すな！共謀罪新設 秘密保護法廃止！」を開催しました。学習会には市民ら60人が参加しました。

この中で海渡雄一弁護士は共謀罪が急浮上していることを報告しました。同弁護士は、政府が過去3回廃案になった共謀罪法案に、「組織犯罪」と「テロ」という新しい二つをいれ、新たな装いをこらしているが、通信傍受などによる市民監視とむすびつけるなど犯罪でも犯罪の「準備」や「予備」でも漠然とした「計画」を対象にしたもので過去の「共謀罪」と何ら変わらない危険な法案であることを告発しました。それは、読売新聞（2016年8月6日付）が社説「テロ対策 未然防止へ法整備の議論を」で、「東京五輪を控え万全の備えが必要」として、テロ対策で「共謀罪の創設は、選択肢の一つ」「組織的な重大犯罪の計画段階でも、処罰を可能にするものだ。人権侵害の恐れがあるとして、関連法案は過去3回廃案となり、棚上げされている」法案と本質は何ら変わらないことを指摘しました。8月26日「朝日」朝刊以降地方紙を含め各報道機関がとりあげ、「読売」「産経」を除き、おおむね「名前をかえても問題がある」と報じていること、日本弁護士連合会も「反対」の立場を明確にしていることなどと紹介しました。

そのうえで、政府が国民世論の動向をうかがっている状況にある今、出足早く「反対！」「許すな！」の声と運動をあげ、提案を断念させることが大事であることを強調しました。

学習会では、海渡弁護士と小川隆太郎弁護士が、国連人権理事会・表現の自由特別報告者デイビッド・ケイ氏の日本の表現の自由と市民の知る権利」に関する公式の調査（2016年4月12日～18日）について、調査の概要と4月19日に公表された「日本政府などに対する予備的勧告」の内容を解説しました。ケイ氏による、日本における表現の自由の現状が重大な危機に瀕しているとの指摘を紹介しました。ケイ氏は、メディア内部の自主規制、自主検閲が強まっていること、メディアが政府の監視役として、問題を提起していく役割が認識されず、政府への抵抗が弱いこと、特定秘密保護法、歴史教育と教科書、差別と兵とスピーチ、選挙運動の規制、インターネット表現、デモにおける警察による規制などにも言及しています。



講演・シンポジウム「スノーデンの警告、—ここまできている日本の監視社会—」でも共謀罪新設について論議

8月27日渋谷区で「秘密保護法」廃止へ！実行委員会、盗聴法廃止ネット、共通番号いらぬネット共催の講演・シンポジウムが行われました。これには市民ら130人が参加。スノーデン氏に日本のジャーナリストで初めてインタビューをして、『サンデー毎日』に連載した小笠原みどりさんの講演とほかのメンバーとのシンポジウムでも監視社会の究極的な内容でもある「共謀罪」の急浮上が問題になり、その新設を許さない運動の緊急な展開が呼びかけられました。

弾薬 3.9 億円使い、陸自が富士総合火力演習 戦争法具体化の色濃く

陸上自衛隊は 28 日、国内最大規模の実弾射撃訓練「富士総合火力演習」を東富士演習場（静岡県御殿場市）で一般公開しました。3 月 29 日に安保法制（戦争法）が施行され、稲田朋美防衛相が 24 日、戦争法に基づく自衛隊新任務の訓練に全面的に着手することを表明するも
とで行われた富士総合火力演習。演習には隊員約 2400 人が参加。戦車・歩
砲約 60 門、航空機約 20 機、その他車両約 700 両、弾薬約 36 トン、3 億
ぎ込まれました。



総合火力演習の柱の一つは「島しょ部に対する攻撃への対応」。戦争法を具体化する「島しょ奪回」訓練などが展開され、演習を解説する大型スクリーンには、今後、陸自が導入するオスプレイの姿も映し出されました。装備品展示では、今回初めて機動戦闘車と輸送防護車も展示されました。

各地のとくみ

埼玉 オール埼玉総行動実行委員会がシンポジウム開催

『安保関連法』廃止！立憲主義を取り戻す！集団的自衛権の行使を容認した閣議決定撤回！これからどうたかうかを考えるオール埼玉総行動実行委員会シンポジウム」が 26 日、さいたま市で開催されました。シンポジストは、山田智之（オール越谷市民アクション）、加藤ユリ（戦争をゆるさない女性のレッドアクション）、小出重義（オール埼玉総行動実行委員長）で、コーディネーターは副実行委員長の秋山淳子さんでした。参加者は、運動の経験や今後のとくみについて交流し、会場は熱のこもった発言が相次ぎました。

◆学生・高校生でつくる「VIP 埼玉」は、「政治を変えるために選挙に行こうよ」と訴えたが、都市部以外に、なかなか拡がらなかった。埼玉県は意外と広いので、県全体に拡げていかなければならない。そのために、自分達で学習や宣伝に取り組む。

◆埼玉労連の代表は、県内で 4 回の 1 万人規模集会の実施や戦争法廃止を求める 2000 万署名のとくみなどを通じて「多くの人が前向きに政治に関わる流れがつけられている」。

◆さいたま市緑区の市民は、「九条の会」の活動について、5 つの中学校学区全部に、6 つの九条の会ができた。9 月の 25 日に「九条の会、全国討論会」が開かれる。

◆埼玉土建の代表は、約 16 万 7000 筆の署名を集め、国会要請に取り組んだ。これからは、憲法の学習をしっかりとっていく。11 月には「1 万人の大学習会」を予定している。キャッチコピーは「それぞれが憲法の語り部になろう！」

シンポジウムには共産党、民進党、社民党の代表が安倍暴走政治ストップ、戦争法廃止に向けて、野党共闘を発展させていくとの挨拶があり、生活の党からはメッセージが寄せられました。



長野 12 人で諏訪大社に向かう交差点でスタンディング

下諏訪町で戦争法廃止のアピール行動が 25 日夕、12 人の参加で行われました。「何かやらにやあ、伝わらなでな」と、「アベ政治を許さない」のプラスターを掲げて集まりました。藤森スマエ、金井敬子の両町議も参加しました。

諏訪大社に向かう交差点は、スタンディングの 30 分間に 600 台を超える通行量があります。乗っている子どもも含めてみんなで手を振っている車もありました。

参加した小口喜三さんは「自民党の憲法改正草案をみると、個人の尊厳が壊されそうで怖い」と語ります。「SNS で、スタンディングは知っていたけれど、参加は初」という実家に帰省中の男性も参加。小松秀夫さんは「9条の会としても運動をもっと盛り上げなくては」と語ります。

アピール行動は今年の6月から。最初は「下諏訪さんぽ」の形式でしたが、途中からサイレントスタンディングになりました。

9月から「9条を守ろう!下諏訪行動」と名称も変更します。3日、9日、19日、29日の月4回に変更します。

東京・府中 府中ではロングラン宣伝。三多摩では「平和コンサート」

「アベNO!府中実行委員会」は、8月21日、気温33.0℃の猛暑を突いて11時から14時まで、フォーリス前で、昨年5月から毎月実施している15回目となるロングラン行動が30名の参加で取り組まれました。リレートークでは戦争法をはじめ沖縄高江から前日戻った沖縄県民に連帯する会からの緊急報告や原発、TPP、社会保障改悪などアベ暴走を告発。

この日も路上ライブ、ストリート川柳、原爆パネル展示、シール投票、チラシ配布、署名など多彩な取り組みが行われました。

19日(金)は、伊勢丹フォーリス前で恒例の「アベ政治を許さない」スタンディングが13名の参加で取り組まれました。



炎天下のロングラン行動

愛媛 松山市内で戦争法廃止へ宣伝署名

憲法改悪阻止・有事法制反対愛媛連絡センターは25日、松山市の商店街で宣伝し、「昨年9月19日に安倍政権が戦争法を強行採決してからもうすぐ1年。廃止のために力を合わせよう」と訴え、署名を呼びかけました。

9人が参加し、原水爆禁止平和大行進県実行委員会の渡部玲子事務局長、愛媛革新懇の小倉誠一郎事務局長、愛媛民医連の片岡朗事務局長の3氏が「戦争しない国を誓って71年間、日本は平和憲法下で自衛隊が海外でアメリカと一緒に戦争する、南スーダンでは自衛隊員が殺し、殺される危険性が高まっている。戦争法をただちに廃止しよう」と訴えました。

署名した女性は「父が徴兵でいない間に兄と姉が病気で死んでしまった。父は幸い生きて帰ってきたが戦争は二度としてはならない。戦争法は一日も早くなくさなければならない」と語りました。

岐阜 岐阜県共同センター宣伝行動 シール投票も

憲法9条を守る岐阜県共同センターは25日昼、戦争法廃止、自衛隊を戦場に送るなど名鉄岐阜駅前でも新婦人、教組、県労連、共産党など9人が参加して宣伝しました。

9条センターの竹中美喜夫さんは「安倍政権は、戦争法の施行へ、自衛隊に危険な訓練を開始させた。内戦状態の南スーダンに自衛隊を送り出すことは『殺し殺される』リスクが一層高まる。憲法違反の戦争法は廃止させよう」と訴えました。新婦人県本部の大橋とよみ事務局長らが「憲法9条変えることに賛成ですか、反対ですか」のシール投票を行いました。

自転車信号待ちしていた高校3年の男子集団の意見は分かれました。「北朝鮮のミサイルがやばいから」と「賛成」に貼った生徒が、「やっぱり戦争になったら、殺し合いになり、お金も戦争にとられてしまう」と「反対」に貼り替えました。

80代の女性は「日本の憲法が一番いい」と「反対」に貼りました。